

こどもがしるべき

ハガイ



ハガイは「祭り」という意味です。ハガイが記録したハガイ書には、南ユダがバビロンの捕虜から帰ってきて、第二神殿であるゼルバベル神殿を建築する話が記録されています。神殿の再建事業が14年間も中断されたとき、民に霊的無関心と怠惰を捨てろと話しました。神殿再建を通して、信仰と神様中心の生活の回復しなさいという記録も残しました。

福音的な観点で見ると

最初に、イエス・キリストの模型である神殿について記録しました。神殿の本質は、イエス・キリストであり、ただ神様がともにおられる時にだけ意味があります。

二つ目、あらゆる国の宝であるキリストについて記録しました。天と地を揺り動かされて、あらゆる国の宝が神殿に臨むことを通して、キリストのさばきと救い、霊的イスラエルを神様に帰るようにされることを預言しました。

三つ目、ゼルバベルの栄光を受けるキリストについて記録しました。指導者ゼルバベルの祝福の約束（ゼルバベルを自分の印形とする）は、イエス・キリストを通すだけで神の子どもになる救いの保証を見せています。

四つ目、神殿は救いの働きで重要な役割をする所です。「イエス・キリストの来られること（神殿の後の栄光）が神殿の以前の栄光（現神殿）より大きい」というみことばが成就しました。

ハガイ書は、聖書の根本主題と目的である「イエス・キリストを通してなされた救いの働きによって罪人を救われること」をよく見せるみことばだということです。4月、ハガイ書を学びながら、神様が成し遂げられた救いの祝福と感謝を回復するRemnantになりましょう！